

平成 28年度 高松市事務事業評価表 (事中・事後評価)

事務事業名	財政管理事務		
部 局 名	財政局	課(室)名	財政課
		電話番号	087-839-2191

【事業全体概要】まちづくりの目標：分権型社会にふさわしいまち

総合計画	政 策	社会の変革に即応した行財政運営		主 体	市
	施 策	簡素で効率的な行財政システムの構築		期 間	平成 20年度～平成 27年度
	基本事業	健全な財政運営の推進		総事業費	690,672
重点取組項目				特 定 財 源	国
関連根拠法令等					県
事業区分	自治事務	種 別	事中・事後		市債
事業種類	単独				他
				一 般	690,672

各部署の予算要求を査定し予算額を決定するとともに、その編成過程等をホームページで公開するほか、予算、決算書類の作成等を行う。

【事業の目的と指標】

対 象	人件費等の義務的経費や建設事業等に要する投資的経費など、本市が実施する事業全般に係る経費	対象指標名
		当初予算要求時の一般財源不足額
手 段	各部署の予算要求を査定し予算額を決定するとともに、その編成過程等をホームページで公開するほか、予算、決算書類の作成等を行う。	活動指標名
		査定額
意 図	厳しい財政状況の中、事務事業全般を見直し、貴重な財源を重点的・効率的に配分し、健全な財政運営を行い、市民に理解と協力を得る。	成果指標名
		査定後の一般財源不足額
結 果	健全な財政運営の推進	効率指標名
		トータルコスト(千円)あたりの査定効果額

【指標値および事業費の推移】

指標名	単位	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	目標値	目標年度
対象指標	億円	48.8	56.4	111.5		
活動指標	億円	23.8	28.4	73.5		
成果指標	億円	25	28	38		
効率指標	千円	30.63	36.18	88.95		
トータルコスト	[千円]	77,702	78,503	82,629		
(事業費)	[千円]	6,750	6,169	7,394		
(職員人件費)	[千円]	70,952	72,334	75,235		

【環境変化等】

開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
	景気の回復や国の施策が先行き不透明な状況である。	国の動向や経済情勢によっては、財源確保がさらに難しくなる。扶助費の増加、普通交付税の財政措置の段階的縮小により大幅な財源不足が見込まれる。	

【妥当性評価】

1. 事業の実施主体として市の関与は妥当か A 法令等により市が実施しなければならない 妥当である。
2. 事業の上位目標である施策に貢献しているか B 貢献度が中程度 / 義務的 健全な財政運営の推進に努めている。
3. 成果を上げるため、またコストを削減するため、対象あるいは意図（目指す状態）を拡充・縮小する必要があるか B 必要性は中程度 予算編成の効率化が今後必要と思われる。
4. 事業を廃止・休止した場合に影響があるか A 影響は大きい 予算執行ができなくなる。
5. 市民協働の実施状況はどうか（どのような市民参画・市民活動との連携等を実施したか） D 事業について情報提供している 予算編成過程等を市ホームページで公開している。

【有効性評価】

6. 事業の成果（成果指標値）を向上させる余地はあるか B 向上余地が考えられる（中小程度） 事務事業全般の徹底した見直しなどにより、経費の思い切った縮減・合理化を行う。
7. 事業執行上の見直しを行ったか（昨年度何か業務の見直しを行ったか） A 実施済み / 実施する必要がなかった 補助金等を見直しを行った。
8. 成果目標値に対する実績値（達成度）はどうだったか D あまり達成できなかった 扶助費や建設事業費の増加、市税や普通交付税の減少などにより、一般財源不足は解消できなかった。

【効率性評価】

9. 成果を達成するための活動量（活動目標値に対する実績値）はどうだったか C 概ね達成できた
10. コスト縮減ができたか B 縮減できた

【一次評価】

評価区分 継続																							
厳しい財政状況の中、将来を見据えたまちづくりを着実に推進するため、第1期まちづくり戦略計画に掲げる事業を積極的に展開する予算を編成できた。コスト面では、タイトなスケジュールの中で事務を行っており、人件費削減は難しい。																							
改革案																							
内容 コスト面では、タイトなスケジュールの中で事務を行っており、人件費の削減は難しいが、事業の平準化等により単年度の財源不足を解消する。	阻害要因																						
期待効果																							
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

【二次評価】

評価区分 継続
予算編成事務は複雑化、多忙化しており、主たるコストである人件費の削減は難しい。今後とも、難しい財政状況の中、厳格に予算の査定を行うとともに、その編成過程を公開するなど、市民に財政運営への理解と協力が得られる予算編成に努めます。